



φ30正立フロントフォーク&ディスクブレーキキット 取扱説明書

(198mmピッチ／60mmオフセット)

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号：06-01-0730

適応車種及びフレーム番号

Monkey/Gorilla : Z50J-1300017~

: AB27-1000001~

Monkey (FI)

: AB27-1900001~

正しく安全にご使用頂くために

- ・当製品は、φ30フロントフォークワイドトップブリッジ&ステム+ディスクブレーキキットです。別途10インチアルミホイール、フロントフェンダー、ヘッドライトキットが必要です。
- ・当製品は、10インチホイール専用です。
- ・当製品を使用し、キャリパーをbremboに変更する場合、10インチチューブレスホイール(06-09-0211)は使用出来ません。
- ・当キット付属のフロントブレーキマスターシリンダーASSYはオイル確認窓が無い仕様のため、ブレーキフルードの量はオイルカップ部の上限線で確認して下さい。



注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、平坦で足場のしっかりした所を選び車両を安定させた状態で行って下さい。
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行ってください。(ネジ部の破損及び脱落の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して下さい。
- ・フォークトップボルトを取り外す際にフォークスプリングによりトップボルトが飛び出す危険性がありますので、十分注意して下さい。
- ・製品及びフレームにはエッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因になります。)



警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識などが無い方は作業を行わないで下さい。(部品破損などの原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いことを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行ってください。(そのまま走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前は必ず各部を点検し、ボルト、ナットの緩みやオイル漏れが無いことを確認して下さい。又、走行中に異常が発生したと思われる場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行ってください。異常が認められた場合は、絶対にそのまま走行しないで下さい。
- ・ブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合はブレーキパッドは交換して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・ブレーキの取り付け作業については熟練したメカニックに依頼し、専用の設備、工具のある工場などで行ってください。(不適当な取り付けは、事故につながる恐れがあります。)

◎当製品を使用する場合、下記の弊社製品が必要です。

- ▷ 取り付けネジサイズ10mmのミラー (各1個入り)
 - オーバースライドタイプミラー (06-01-110)
 - NC31タイプミラー (06-01-111)
 - 角スライドタイプミラー (06-01-112)
 - MINIミラー (右専用) (06-01-113)

◎本キットに含まれているブレーキケーブルはSTDブレーキレバーには取り付け出来ません。弊社製ブレーキレバーを別途お買い求め下さい。

▷ 弊社製品

- クイックレバーASSY. (06-08-3005)
- ブレーキレバー (06-08-300)

◎STDスロットルハウジング (ブレーキレバー一体式) を取り外す必要がありますので、取り付けキャブレターに対応した弊社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。

▷ 弊社PD22、PE24、VM26、PE28キャブレターキット使用の場合

- ハイスロットルセット (ケーブル長810mm) (09-02-0221、09-02-0231/0233)
- ハイスロットルセット (ケーブル長710mm) (09-02-0222、09-02-0230/0232)

▷ STDキャブレター及び弊社PC18、PC20、PD22、PE24キャブレターキットの場合 (PD22、PE24の場合は、ハイスロットルの使用も可能です。)

ホンダ純正部品

- スロットルハウジング (1個) (53168-166-000)
- スロットルハウジング (1個) (53167-GE4-000)
- パンスクリュー 5×22 (2個) (93500-05022-0G)

※フレーム番号Z50J-130017~1510400の車両の場合、純正スロットルケーブルの使用は不可です。

STDキャブレターの場合、ケーブルCOMP、スロットル (17910-165-640) が必要です。

◎フレームNO. Z50J-1300017~1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

▷ 遠心クラッチ車

- コンベネーションスイッチASSY (02-01-015)

～特 徴～

- ・ロングストロークエンジン搭載時の車体バランスや、ホイールベース延長による操舵安定性をはかり、扱いやすいオフセット量（60mm）に設定しました。
- ・トップブリッジ、ステムは3.5インチ幅のホイールが取り付け可能なフォークピッチ198mm、オフセット60mmのワイドフォークピッチです。
- ・トップブリッジ、ステム裏面には軽量化の為、肉抜き加工を施しています。
- ・弊社製各種メーターステー、オイルクーラーブラケットが取り付け可能です。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

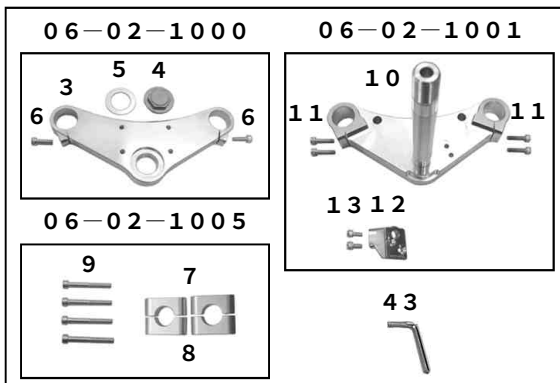
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいませようお願い致します。

～商 品 内 容～

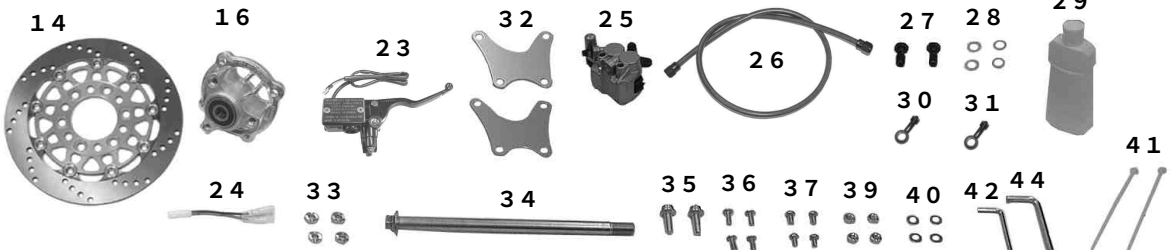
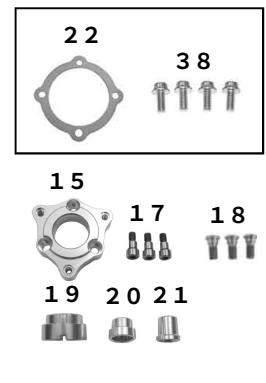
06-01-0723



06-02-0016



06-09-1306



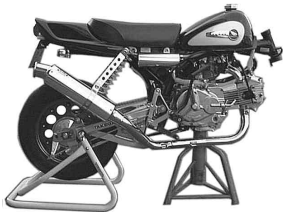
番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数	番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	R.フロントフォーク ASSY.	1	51400-GEF-T10	1	23	フロントブレーキマスターシリンダー ASSY.	1	06-08-1168	1
2	L.フロントフォーク ASSY.	1	51500-GEF-T10	1	24	サブコード	1	37600-KCZ-T00	1
3	トップブリッジ	1			25	フロントブレーキキャリパー ASSY.	1	06-08-115	1
4	ステアリングステムナット	1	54303-165-T00	1	26	ブレーキホース 775mm	1	06-08-0007	1
5	ステムナットワッシャー	1	90503-165-T00	1	27	パンジョー ボルト 10×1.25	2	00-07-0007	1
6	ソケットキャップスクリュー 6×20	2	00-00-0043	10	28	シーリングワッシャー 10mm	4	00-07-0010	10
7	ハンドルアップパーホルダー	2	54411-165-T00	1	29	ブレーキフルードDOT-4 (220cc)	1	06-08-0019	1
8	ハンドルローパーホルダー	2	54412-165-T00	1	30	パンジョー (ストリート)	1	00-07-0006	1
9	ソケットキャップスクリュー 6×50	4	00-00-0044	3	31	パンジョー (25°)	1	00-07-0037	1
10	ステアリングステムCOMP.	1			32	フロントフェンダーステー	2	61110-181-T00	1
11	ソケットキャップスクリュー 6×25	4	00-00-0089	10	33	フェンダーステー カラー	4	61111-181-T00	1
12	ステアリングロックブラケット	1	53601-GEF-T00	1	34	アクスルシャフト	1	44301-GFL-T10	1
13	ソケットキャップスクリュー 6×12	2	00-00-0116	6	35	フランジキャップスクリュー 8X25	2	00-00-0183	2
14	フローティングディスクローター (220mm)	1	06-08-1493	1	36	ボタンヘッドキャップスクリュー 6X15	4	00-00-0132	4
15	ディスクロータースペーサー	1	45221-GFL-T00	1	37	ボタンヘッドキャップスクリュー 6X10	4	00-00-0092	5
16	フロントホイールハブCOMP.	1	44604-181-T00-C	1	38	フランジソケットキャップスクリュー 8×20	4	00-00-0238	4
17	セットボルト	3	45223-GFL-T00	1	39	6角ナット 6mm	4	00-00-0128	10
18	ディस्कボルト 8×20	3	90105-165-T00	1	40	ブレーンワッシャー 6mm	4	00-00-0086	10
19	メーターギアカラー-A	1	45222-GFL-T10	1	41	インシュロックタイ 200mm	2	00-00-0179	10
20	メーターギアカラー-B	1	45225-GFL-T00	1	42	6角棒レンチ 4mm	1		
21	サイドカラー	1	45224-GFL-T00	1	43	6角棒レンチ 5mm	1		
22	ホイールスペーサー 1mm	1	44600-181-T00	1	44	6角棒レンチ 6mm	1		

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませようお願い致します。

～取 付 け 要 領～

1. リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き車両を安定させた状態で作業を行います。



2. ステアリングシステムからハンドルロックを取り外し、ステアリングロックブラケットに取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 9 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 0.9 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$



3. ステアリングロックブラケットをソケットキャップスクリューでステアリングシステムCOMP.に取り付けます。

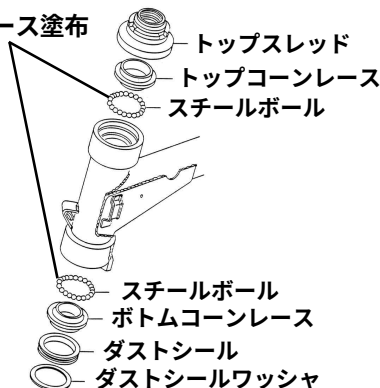
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 1.2 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 1.2 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$



4. ステアリングシステムのボトムコーンレースをポンチドライバーやタガネ等で取り外し、ダストシール、ダストシールワッシャを取り外します。ステアリングシステムCOMP.にダストシールワッシャ、ダストシール、ボトムコーンレースをそれぞれ取り付けます。

5. トップ/ボトムコーンレースにグリスを十分塗布し、スチールボールを取り付けます。
 ※スチールボールは取り付け前に洗浄し、ゴミ等を付けないようにして下さい。

グリス塗布



6. ステアリングシステムをステアリングヘッドに取り付けトップコーンレース、トップスレッドを取り付け、トップスレッドを手で一杯に締め付けます。

ステムを左右に4～5回作動させスチールボールをなじませた後、トップスレッドを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 2 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 0.2 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$

※ステアリングシステムは、ガタが無くスムーズに動く事を確認して下さい。



7. フロントメンテナンススタンドを使用し、エンジン下部の台を取り除きます。

トップブリッジを取り付け、ワッシャを入れてステムナットを仮締めします。

8. ステムナットを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.9 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 6.0 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$



9. $\phi 30$ フロントフォークを取り付け、トップブリッジ、ステアリングシステム割り締めボルトを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 1.5 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 1.5 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$



10. フロントホイールハブCOMP.にディスクロータースペーサーをセットボルトで指定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 2.3 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 2.3 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$



11. フローティングディスクローターをディスクロータースペーサーにディスクボルトで指定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 2.3 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 2.3 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$



12. フロントホイールハブCOMP.に10インチアルミホイールをアルミホイールに付属のフランジボルトで仮締めします。

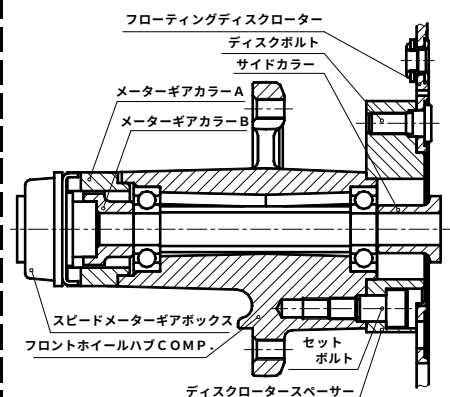
※2.5 Jホイールの場合、付属のホイールスペーサー1mmを使用して下さい。

※3.5 Jホイールの場合、スペーサーは不要です。

13. フロントフォークにフロントホイールハブCOMP.等を取付け、アクスルシャフトを通し、アクスルナットを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.9 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 6.0 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$

※アクスルナット締め付け前に、スピードメーターギアボックスの位置を調整して下さい。



14. フロントフォークにキャリパーをフランジソケットキャップスクリュー8 X 25で指定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 2.6 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 2.6 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$

※キャリパー取り付け時にホイールと干渉しますので、ホイール取り付けボルトを緩め干渉しないよう取り付けして下さい。



15. ホイール取り付けボルトを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 29 \text{ N} \cdot \text{m} (3.0 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

16. フロントフェンダーステとボトムケースの間にカラーを入れ、ボタンヘッドスクリュー6×15で取り付け、スクリューを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kg f} \cdot \text{m})$



17. オプションのフロントフェンダーをフェンダーステの間にセットします。ボタンヘッドスクリュー6×10を、フェンダーステに差し込み、フェンダー裏側にプレーンワッシャ、六角ナットで取り付けます。六角ナットをスパナで固定し、スクリューを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 7.8 \text{ N} \cdot \text{m} (0.8 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

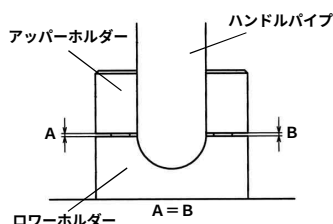
※フロントフェンダー取り付けは、フェンダーの説明書を参照して下さい。



18. オプションのステアリングハンドルパイプを、ハンドルホルダーにセットし、トップブリッジに取り付けます。ハンドルホルダーのソケットキャップスクリューを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

※ハンドルホルダーは前後のすき間が同じになる様に締め付けて下さい。他の部品は、商品添付の取り扱い説明書を参照し組み付けて下さい。



19. ストップスイッチサブハーネス、ウインカースイッチ（コンビネーションスイッチ）の配線を接続します。

※Monkey (FI) の場合
 ストップスイッチサブハーネスとサブコードを接続し、配線を接続します。

20. バンジョーボルトにシーリングワッシャ、バンジョー（ストレート）、シーリングワッシャの順で通し、マスターシリンダーに取り付けて仮締めします。



21. フロントキャリパー側はバンジョー（25φ）をマスターシリンダーと同様の方法で取り付けます。



22. ブレーキホースを各バンジョーに取り付けます。
 バンジョーの取り付け角度、ブレーキホースの取り回しが決まれば、バンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
フィッティング
 $T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

※ブレーキホースの取り回しは、ハンドル操作時やフロントフォーク作動時に無理のかからない状態になるように注意して行って下さい。

23. ブレーキホースが他の部分と干渉しないようにタイラップで固定し、余った部分はニッパ等で切り取ります。

※バウンド、リバウンド時にホースが突っ張らないように固定して下さい。

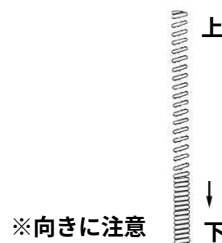
△注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
 $T = 15 \text{ N} \cdot \text{m} (1.5 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

フロントフォークオイルの交換要領

1. トップブリッジ、ステムのボルトを緩めフォークを取り外します。
 (フォークトップボルトを緩めてからフォークを外して下さい。)
2. トップボルトが飛び出さない様に注意してボルトを外します。
 オイルパン等を用意し、フォークを逆にしてカラー、ジョイントプレート、スプリングをそれぞれ取り外します。
3. インナーチューブを伸縮させフォークオイルを抜き取ります。
 (数分間インナーチューブを下側にし、放置して下さい。)
4. フロントフォークを立て、フォークオイルを注入します。
フォークオイル : 20番
フォークオイル量 : 155cc (1本)



5. フォークスプリングに付着したオイルを拭き取り、ピッチの狭い方を底に向けスプリングを入れます。ジョイントプレート、カラーを取り付けトップボルトを仮締めします。



6. フォークをステム、トップブリッジに取り付け、トップボルトを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 20 \sim 24 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(2.0 \sim 2.5 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357
 FAX 0721-24-5059
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
 URL <http://www.takegawa.co.jp>

ブレーキのエア抜き要領

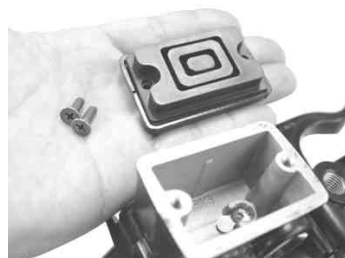
⚠ 注意

- ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
- 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
- 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
- シーリングワッシャは再使用しない事。
- ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
- ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
- 規定トルクは必ず守る事。
- ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

⚠ 警告

- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- 損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

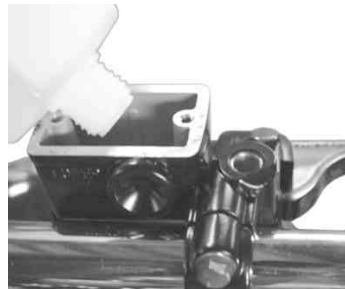
- マスターシリンダーASSY.の2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



- キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



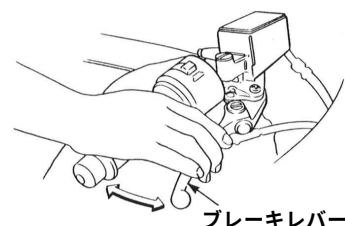
- マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。



- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。
⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
ブレーキオイル DOT 4.

- ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。

- ☆オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



- ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。



- ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

- ①ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

- ②ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

- ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで①、②の操作を繰り返します。

- ☆時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

- エアの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



- ⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 6 \text{ N} \cdot \text{m}$
(0.6 kgf · m)

- オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。

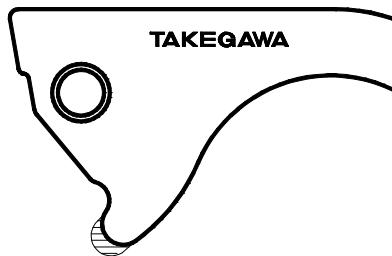


- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。

- ⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
ブレーキオイル DOT 4.

マスターシリンダーのご使用について

レバー交換等で一度マスターシリンダーよりレバーを外した際は、
レバー取り付け後にピストンとレバーの遊びが変わる場合があります。
その場合、レバーの斜線部分をヤスリ等で削って調整して下さい。



株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川